

自己評価報告書

学校法人巨樹の会
小倉リハビリテーション学院

本報告書は、学校法人巨樹の会 小倉リハビリテーション学院の自己評価結果を記したものである。

評価対象期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

令和 8 年 6 月 1 日

学院長 宮崎 澄雄
学校評価実施責任者
副学院長 磯邊 恵理子（令和 7 年度）

1. 自己評価の概要と実施状況
- 1) 自己評価の目的、方針
- ①教職員が自己評価を行う中で、学生教育ならびに学校運営に関する自己点検、確認、検討の機会とする。
 - ②自己評価の妥当性を学校関係者評価において確認し、学生教育や学校運営についての客観性・透明性を高める。
 - ③自己評価ならびに学校関係者評価により、学校運営・教育活動における課題を明確にして、学校運営の改善を図る。
 - ④ 自己評価は本校の学校評価実施規程に則り、「専修学校における学校評価ガイドライン（改訂版）」「学校関係者評価の項目」に応じて実施する。

2) 自己評価委員会委員

委員氏名	所 属
宮崎 澄雄	小倉リハビリテーション学院 学院長
磯邊 恵理子	小倉リハビリテーション学院 副学院長
秋山 嘉和	小倉リハビリテーション学院 理学療法学科 教務部長
佐伯 和則	小倉リハビリテーション学院 作業療法学科 教務部長代行
林 輝真	小倉リハビリテーション学院 理学療法学科 教務主任
岡部 貴文	小倉リハビリテーション学院 理学療法学科 教務主任
増見 伸	小倉リハビリテーション学院 理学療法学科 教務副主任
井上 祥教	小倉リハビリテーション学院 理学療法学科 教務副主任
梶島 真理	小倉リハビリテーション学院 作業療法学科 教務副主任
山本 龍一	小倉リハビリテーション学院 事務長
野上 愛	小倉リハビリテーション学院 事務主任
永松 利伽	小倉リハビリテーション学院 事務副主任

3) 自己評価方法

令和 7 年度の教育活動、学校運営の全般にわたり、項目 I ～項目VIの内容について、教職員個人による自己評価・自己点検の機会を設け、集約した結果を参照して、自己評価委員会にて評価を行う。また、評価結果の妥当性を確認し、課題や改善が望まれる項目、その解決の方向性についての検討を行い、学校関係者評価結果と併せて、健全な学校運営に役立てる。

2. 自己評価の内容

1) 評価基準

自己評価、学校関係者評価に共通して、各項目の評価は下記に示す達成度による 3 段階の評価基準にて実施する。

- 3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている
- 2：概ね基準を満たしている
- 1：基準を満たしておらず改善が必要

2) 自己評価の内容

- 項目Ⅰ 教育理念・目的・目標
 項目Ⅱ 教育課程、教育の実施、学修成果
 項目Ⅲ 学生の受入れ、学生支援
 項目Ⅳ 教育実施組織・教員
 項目Ⅴ 教育環境
 項目Ⅵ 教育活動の基盤と改善・向上の取組

項目Ⅰ 教育理念・目的・目標

小項目Ⅰ－1	【教育理念、目的及び目標の設定等】
評価の基準	・教育理念等を踏まえ、専門職育成としての教育目的及び目標を明確に設定している。 ・養成する人材像を明確にしている。

■自己評価： 3

①状況説明

教育理念「共生」を掲げ、心豊かで信頼され、暮らしを支える理学療法士・作業療法士の育成を目標としている。これらは玄関への掲示に加え、学生便覧、HP、パンフレット、シラバス等に掲載し、高校訪問やガイダンスを通じて広く周知している。養成する人材像には、生涯学習という専門職の特性を明示している。外部委員を交えた教育課程編成委員会や学校関係者委員会を定期開催し、多角的な意見を取り入れる体制を整えている。

②課題及び今後の改善方策

教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会での外部意見を、より確実に翌年度の教育活動の質向上へ反映させブラッシュアップを図る。

③特記事項

特になし。

項目Ⅱ 教育課程、教育の実施、学修成果

小項目Ⅱ－1	【教育課程の編成と授業科目】
評価の基準	・学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置している。

■自己評価： 3

小項目Ⅱ－2	【教育の実施】
評価の基準	・授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられている。また、教育内容・教授方法・教材等について工夫されている。 ・成績評価基準に基づき成績評価を行っている。 ・授業評価の実施体制を整備している。 ・企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等の授業を行っている。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位時間または単位数の総授業時数に占める割合を具体的に設定している。

■自己評価： 3

小項目Ⅱ－3	【単位・卒業認定】
評価の基準	・学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針を学科ごとに定め、卒業の認定をしている。

■自己評価： 3

小項目Ⅱ－4	【学修成果・目標の達成状況】
評価の基準	・卒業認定方針を踏まえ、職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、教育実践し、その目標が達成できている。 ・学生が望む進路の実現に関する目標を定め、指導を実施しその目標が達成できている。（就職率・進学率）

■自己評価： 3

①状況説明

養成する人材像の実現に向け、系統性・段階性に配慮した体系的な教育課程を編成している。講義・演習・実習の各形態で適切な教材を用い、一部講義の動画化などICTを活用した復習支援も行っている。

また、企業等と連携した実習・演習を総授業時数に対して適切に設定・実施している。成績評価基準に基づき厳格に評価を行い、国家試験対策や就職・進学支援を通じて、学生が望む進路の実現に向けた目標を概ね達成している

②課題及び今後の改善方策

授業評価内容の見直しと結果のフィードバック方法を構築していく。学習アプリの活用状況と学習効果の検証も行い、効果的な学習内容を確認する。

③特記事項

特になし。

項目Ⅲ 学生の受入れ、学生支援

小項目 Ⅲ－1	【学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理】
評価の基準	・入学者の受け入れ方針(AP)、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、可否を決定している。 ・学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っている。

■自己評価： 3

小項目 Ⅲ－2	【自主的な学習の促進に対する支援】
評価の基準	・学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいる。 ・学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っている。

■自己評価： 3

小項目 Ⅲ－3	【多様な学生に対する支援】
評価の基準	・適切な体制を構築し、障がいのある学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っている。

■自己評価： 3

小項目 Ⅲ－4	【学生生活に関する支援】
評価の基準	・カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営している。 ・留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っている。 ・学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用している。 ・学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用している。 ・学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用している。

■自己評価： 3

①状況説明

アドミッションポリシーを募集要項やHPに明示し、WEB出願や受験対策オープンキャンパスにより、安心して受験できる環境を整えている。

入学前には基礎課題やプレ講義等の教育を行い、入学後もセミナーや個別指導、スクールカウンセラーによる心理支援、一泊研修による対人関係構築支援を実施している。

経済面では学費の分納制度や特待生制度を運用し、進路面では年3回の就職説明会や面接練習等、全教員による手厚い支援体制を構築している。

②課題及び今後の改善方策

学力不足に起因する退学者の防止を継続的に実施する。また専門実践教育訓練給付金の認定更新手続きも確実に履行していく。

③特記事項

特になし。

項目Ⅳ 教育実施組織・教員

小項目 Ⅳ－1	【教員の配置、募集、採用】
評価の基準	・教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等（教員の採用基準等）を整備し、適正に運用している。

	・教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時間数等を把握している。また、教員の専門性、教授力を把握、評価している。
--	---

■自己評価： 3

小項目 IV-2	【教員の組織編制等】
評価の基準	・学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めている。 ・教員間で連携、協力体制を構築している。

■自己評価： 3

小項目 IV-3	【教員の資質の向上】
評価の基準	・学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っている。特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っている。 ・教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っている。

■自己評価： 2

①状況説明

指定規則を上回る教員を配置し、専門分野に応じた役割分担と、国家試験対策でのチーム指導を行っている。

担任・副担任制や学年別のデスク配置により、教員間の情報共有を円滑化し、隔週の運営会議や月例の全体会議で意思決定を迅速に行っている。

資質向上については、4校合同の講習会（年2回）への参加を義務付けるほか、法人全体の中央研修や学会参加支援制度を活用し、教育目標に基づく授業設計等の基礎知識習得を組織的に推進している。

②課題及び今後の改善方策

一部教員への業務偏重の是正とICT活用による事務効率化を推し進めていく。

教員が研究活動をするまでに至っていないため、従事できる時間も確保し根拠のある教育活動に努めていく。

③特記事項

特になし。

項目V 教育環境

小項目 V-1	【教育環境の設備】
評価の基準	・教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えている。 ・学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備している。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保している。 ・図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしている。

■自己評価： 3

小項目 V-2	【安全対策、防災組織】
評価の基準	・学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っている。 ・施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施している。

■自己評価： 3

小項目 V-3	【施設・設備等の点検、改善】
評価の基準	・施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っている。 ・施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施している。

■自己評価： 3

①状況説明

施設・設備は関係法令に適合しており、今年度は外壁塗装や全館のエアコン更新、自転車置き場の整備といった計画的な大規模改修を実施し、環境を大幅に改善した。寮の移転に伴う準備も進めた。

図書室は学生の要望に応じた専門書や一般書の新規購入を毎年行い、試験

前には自習スペースとしても活用されている。

安全面では、防火管理者による避難訓練や地震体験車による防災意識向上に加え、不審者訓練も行い危機管理意識の向上を図っているほか、毎日の学内巡回と年度末の備品点検を徹底している。

②課題及び今後の改善方策

既存の防災マニュアルを現状に合わせ見直しを実施する。

定期的に環境整備を図り、適切な取り扱い・老朽化による事故予防や備品の破損を防いでいく。

③特記事項

特になし。

項目VI 教育活動の基盤と改善・向上の取組

小項目 VI-1	【中期事業計画と財務基盤】
評価の基準	・策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられている。 ・教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立している。

■自己評価： 2

小項目 VI-2	【学校運営】
評価の基準	・学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われている。（職業教育に関するマネジメント（教育の企画・設計・運営等）の責任体制を含む。）

■自己評価： 3

小項目 VI-3	【学校評価の実施と改善活動】
評価の基準	・学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用している。特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催している。

	・学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施し結果及び改善状況についての情報を公表している。 ・学校評価（自己評価・学校関係者評価）の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っている。
--	--

■自己評価： 3

小項目 VI-4	【社会からの理解と情報の公表】
評価の基準	・教育活動、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表している。 ・教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいる。

■自己評価： 3

①状況説明

18歳人口の減少を見据え、職域拡大を視野に入れた中長期計画の再定義を進めている。

学校関係者評価委員会（年1回）や教育課程編成委員会（年2回）を開催し、外部助言を反映した改善結果をHPで公表している。

地域貢献として、熱中症対策や部活動支援等の出前講座、ボランティア活動を活発に実施し、産学官・地域連携を強化している。

財務面ではエアコン更新による光熱費削減やペーパーレス化を推進し、持続可能な運営基盤の確立に努めている。

②課題及び今後の改善方策

学生の地域マナー向上と、ボランティア活動への自主的な参加意欲の醸成を図る。

社会ニーズの変化に対応した持続可能な財務基盤の確立を推し進めていく。

③特記事項

特になし。